



昭和11年(1936) 新文展鑑査展 151.5cm×151.5cm 絹本彩色、額装 豊田市美術館蔵

## 「海の微風」山本 丘人

小金井の自宅の庭に、新婚旅行で訪れた場所を組み合わせた風景の中に立っている若い女性は妻の美代さん。

昭和11年(1936)6月、帝展落選の続いた丘人は下谷区上野桜木町(現・東京都台東区)から小金井村貫井(現・小金井市貫井)へ転居します。

「絵は人なり」という強い信念を持った作家の内面表現が形になったのはじめての作品。晩年、大磯へ引っ越した理由は空想の中で描いた垣根によく似た垣根がそこにあったからだというエピソードが残っています。新婚旅行で訪れた場所は熱海、伊豆真鶴など諸説ありますが、思い出を題材に新天地で描いた「海の微風」は日本画家としてデパーチャー的作品となりました。